※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0301

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	私たちの公共 資料から考える現代社会の課題（清水書院）						
副教材等	私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために（総務省・文部科学省）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会の一員として備えておきたい、他者と協同できる資質や、多様な価値観を受容できる感性を高められるよう日々の学習に取り組もう。

まずは、思考実験やモラルジレンマ教材等を用いて、自分は社会とどのようにつながるか、みんなが幸せを感じる社会とは何か、ルールはなぜ必要なのかなど、考察することを通じて、公共的な空間における基本原理について理解を深めよう。

次に、18 歳で成年となることを自覚し、主権者として育んでおきたい政治的教養や、消費者として必要な倫理観や責任感を高められるよう、主体的に学ぶ姿勢を心掛け、判断力を磨こう。

最後に、日々の授業で習得した知識や技能をもとに、自分たちが生きる社会の課題とどう向き合っていくかを考え、自分なりに判断し、行動できるようにしよう。

２　学習の到達目標

・主権者・消費者・社会の一員として備えておく必要がある基本的な概念や理論等について理解するとともに、諸資料から適切な情報を選択・活用して自分なりに判断する力を身につける。
・公共的な空間における基本原理について理解を深め、事実をもとに多面的多角的に考察し、合意形成のために効率や公正等の視点で対立を調整する力を養う。
・自分たちが生きる社会の課題に対して、自分の考えを調整しながら、よりよい結果を導き出そうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題をとらえて考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共の扉	・社会で生きるということ ・みんなが幸せな社会とは ・個人の尊重と社会 ・民主主義・立憲主義 ・社会のルールとは何か ・社会規範と法 ・慣習と倫理・道徳 ・法の支配	a:自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 a:各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解するとともに、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:公共的な空間における基本的原理に着目して、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「公共的な空間における人間としての在り方生き方」「公共的な空間における基本原理」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察
	私たちの生活と経済	・はたらくこと ・雇用と労働 ・労働者の権利 ・労働基準法 ・労働者を守る制度と課題 ・社会保障制度の意義 ・より良い経済社会をめざして	a:職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:経済に着目して、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:経済に関わる現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	私たちの生活と法	・個人と法 ・消費者の権利と義務 ・日本国憲法の基本原理 ・国民の義務 ・平等権 ・自由権 ・社会権	a:法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:法に着目して、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:法に関わる現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察
後期	政治的教養を育む教育	・選挙のしくみ ・選挙運動 ・投票 ・年代別投票率と政策 ・選挙制度の課題 ・模擬投票	a: 議会制民主主義、選挙及び選挙運動、投票、請願、世論の形成など、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について理解しているとともに、自立した主体としてよりよい社会の形成に参画するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:有権者として身につけるべき資質に着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察し、根拠を持って主張・表現している。 c: 「望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的・協働的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	私たちの生活と政治	・日本の統治機構 ・国会のしくみとはたらき ・内閣のしくみとはたらき ・裁判所のしくみとはたらき ・紛争解決のしくみ ・裁判員制度	a:政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:政治に着目して、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:政治に関わる現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察
	持続可能な社会を創る	・課題探求	a:持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、これまでの学習の成果を活かして、幸福、正義、公正などに着目し、現代の諸課題を探求する活動の意義について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを表現している。 c:現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト パフォーマンス 課題 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度